

スポーツコード

規律裁定規定

2024 年

スポーツコード

用語の解説	1
1 FIMスポーツコード	5
2 定義	5
2. 1 付則	5
2. 2 規則	5
2. 3 車両、エンジン及びエネルギー源	5
3 権能および裁定条項の認識	7
4 FIM規則の解釈	7
5. スポーツコードとその付則及び規則の改訂、あるいは追加	8
10 競技会	8
10. 1 競技会の種類	8
10. 1. 1 FIMプロモーターの存在しない FIM世界選手権及びプライズイベント	8
10. 1. 2 FIM契約プロモーターとのパートナーシップによって 運営されるFIM世界選手権およびプライズイベント	9
10. 1. 3 FIMトレーニングキャンプ	9
10. 1. 4 CONU コンチネンタルユニオン選手権	9
10. 1. 5 CONU トレーニングキャンプ	10
10. 1. 6 クラシックイベント	10
10. 1. 7 外国籍参加者に開かれた国内競技会	10
10. 1. 8 コンチネンタル競技会	11
10. 1. 9 国内競技会	11
10. 2 四輪とモーターサイクルレースが同日に行われる競技会	11
10. 3 二輪および三輪のモーターサイクル、クアドレーサー 及び／あるいは四輪のレース	11
10. 4 非公認競技会	12
10. 5 サポートレース	12
10. 6 タイトルの使用	12
10. 7 サーキット、トラック及び会場	12
10. 8 幾つかの地域にまたがって開催される大会	13
20. カレンダー	13
20. 1 カレンダーの設定	13
20. 1. 1 FIMプロモーターの存在しないFIM世界選手権 及びプライズイベント	14
20. 1. 2 FIM契約プロモーターとのパートナーシップによって 運営されるFIM世界選手権及びプライズイベント	14
20. 1. 3 CONU コンチネンタル選手権	15
20. 2 カレンダーの追加、および変更	15

20. 3	カレンダー登録料	17
30	FIM 競技会	18
30. 1	F I M世界選手権およびプライズイベント	18
30. 1. 1	世界選手権	18
30. 1. 2	F I Mプライズ	20
30. 1. 3	ワールドレコード	22
30. 2	競技会の格式及び資格基準	22
30. 3	FIM プロモーターの関与する／またはしない FIM 世界選手権 及びプライズイベント競技会	22
30. 4	FIM 競技会の運営	22
30. 5	順位	23
30. 6	F I Mによって与えられるメダルと賞状	24
30. 7	“チャレンジ”と“トロフィ”	24
40	オフィシャル	25
40. 1	競技会の指揮と管理	25
40. 1. 1	オフィシャル	25
40. 1. 2	オフィシャルの資格	25
40. 1. 3	F I Mライセンスを所持するオフィシャル	26
40. 2	オフィシャルの任命	26
40. 3	FIM デレゲート（派遣代表）/FIM 代表	27
50	国際審査団及びFIM スチュワード	27
50. 1	国際審査団（JI）	27
50. 2	FIM スチュワード	28
60	参加者	29
60. 1	FIM イベントに参加するナショナルチーム または CONU チーム	29
60. 2	競技会への参加者	30
60. 3	結果及び発行物の承認	30
60. 4	ライダーとパッセンジャーの年齢	30
60. 5	責任及び危険性の認知	31
60. 6	ライダー及びマシンに表示する広告	31
60. 7	世界チャンピオン表彰式典	31
70	F I Mライセンス	32
70. 1	発行と取り消し	32
70. 2	参加者のための F I Mライセンス	32
70. 3	FIM オフィシャルライセンス	35
70. 4	F I Mプレスカード	35
100	大会特別規則、その他書類及び競技会の種々運営	35
100. 1	国内コードとオフィシャルの任命	35
100. 2	法律上の認可	35

100. 3	大会特別規則（SR）	36
100. 4	公式プログラム	36
100. 5	公式文書の作成	36
100. 6	事前の検証	36
100. 7	安全性	37
100. 8	救急処置	37
100. 9	火災予防	37
100. 10	環境	37
110	保険	37
120	FIM 競技会へのエントリーとエントリー受理	39
130	競技会の開始と運営	39
140	競技会終了後	39

規律及び裁定規定

1.	原則	41
2.	ペナルティー	41
3.	国際規律及び裁定組織	43
3. 1	国際審査委員会、レースディレクションまたはレフリー	43
3. 2	国際裁判員リスト (LJI)	44
3. 3	国際規律法廷 (CDI)	46
3. 4	規律諮問委員会 (TAC)	47
4.	抗議と控訴	47
5.	すべての規律および裁定組織が取る手順	50
6.	手続き上の費用	52
7.	ペナルティーの相互作用	53
8.	赦免	53
9.	裁定条項	53

本規定にある三人称単数は簡略化の為に全て男性敬称で明記し、特に記載のある場合は女性敬称で明記する。

スポーツコード

用語の解説

FIM 頭字語、用語、定義及び略語（徹底されてはいない）

アドミニストレーション（ADM）FIM 執行事務局

カテゴリー Category	一大会。例：外国籍参加者に開かれた国内競技会（NMPF）、国際競技会、プロモーターが関与するまたはしない世界選手権 一参加者。ユース、ジュニア、ウィメン、ヴェテラン 一車両。モーターサイクル、サイドカー、クアド、スノーモビル、eバイク等
クラス Class(es)	シリンダー容積、エンジンのタイプと出力源による車両の種類
順位 Classification	ランキング、大会における参加者の成績（暫定、正式）
競技監督 Clerk of the Course	競技役員（日本では競技監督を指す）
種目 Discipline	競技会の種類。例：サーキットレース、モトクロス、トライアル、エンデューロ、トラックレース、クロスカントリーラリー等
大会運営 Event Management	各種目における規則/細則に明記されるオフィシャルグループ（日本では大会組織委員会）
FIM 選手権及びプライズイベント カレンダー	FIM 権能下に運営される選手権及びプライズイベントで FIM スポーツ競技会カレンダー

FIM イベント	FIM 選手権及びプライズイベントに相当するモーターサイクルイベント
FIM ライセンス	競技役員、参加者、マニュファクチャラー及びチームが FIM 選手権/プライズイベント及び 外国籍参加者に関われた国内競技会 国際競技会 に参加するために必要な書類
FIM 世界選手権及びプライズイベント	プロモーターの存在する、またはしない FIM 世界選手権/プライズイベントのシリーズまたは大会
FMN	FIM 加盟国。各国モーターサイクル協会
FMNR	競技会を主催する各国協会
IMN	FIM カレンダーに登録された競技会に付与される登録番号
国際審査団 International Jury	競技会における仲裁組織で構成されるオフィシャルのグループで FIM スポーツコード及び/または各競技の規則/細則に明記される。
国際競技会 International Meeting	インターナショナルライセンスを所持するライダーの為に主催国協会によって開催される
マニュファクチャラーManufacturer	世界選手権/プライズイベント出場のために FIM ライセンスを所持する
外国籍参加者に関われた国内競技会 (NMFP) カレンダー	主催国協会の権限下にあるカレンダーにおける 外国籍参加者に関われた国内競技会 カレンダー（以前は国際競技会と称された）
オフィシャル Official(s)	各種目の規則/細則に明記されている職務に従事する人間

主催者 Organizer	主催者。例：主催国協会（FMNR）、クラブ、プロモーター、サーキットオーナー
パドック Paddock	全てのライダーまたはサプライヤーのためのサーキット周囲に確保された場所
パルクフェルメ Parc Ferme	主催者管理の基車両を保管する為に囲われた場所
パッセンジャー Passenger	サイドカードライバーとチームを組む FIM ライセンスを所持する参加者
パーマネントビューロー Permanent Bureau	FIM プロモーターとの契約により構成される組織
Practice	世界選手権、競技会における競技前の練習
プロモーター Promoter	FIM 世界選手権及び/またはプライズイベントに関する一部主催及び/または商権を有するエージェント。
レースディレクション Race Direction	各種目の規則/細則に明記されているオフィシャルの組織
レースディレクター Race Director	オフィシャルの一人
レフリー Referee	FIM 規則の適用に関して大会に従事する最高権能を有するオフィシャル
ライダー Rider	FIM 競技会において車両を操縦する者
セミナー Seminar	インストラクターの基に 1 日または 2 日に亘りオフィシャル/参加者の為に開催されるトレーニングセッション
スチュワード Stewards	スチュワードパネルのオフィシャル

スチュワードパネル Steward Panel

FIM スポーツコード及び/または各種目の規則/細則に定義される FIM イベント開催期間中に特定の役務に従事するオフィシャルのグループ

大会特別規則 Supplementary Regulations(SR)

スポーツコード及び細則を補足する詳細情報及び規則

チーム Team

環境にもよるが、FIM スポーツコード事項 60.2、70.2.1 及び 70.2.4 に定義されているチーム

ターム・オブ・レファレンス Terms of Reference

組織またはオフィシャルの役務及び任務

世界記録 World Records

FIM が公認する記録

1 FIMスポーツコード

FIMスポーツコード（以下スポーツコードと呼ぶ）は、競技会のカテゴリー、各々の規律に関連する細則及び規則とともに自らの権限下で開催されるすべてのスポーツ競技を管轄する国際モーターサイクリズム連盟（FIM）が設定する一連の規則である。

本コード、細則及び規則の目的は、モーターサイクルスポーツの世界的認知を激励且つ促進することである。モーターサイクルスポーツの完全なる安全性、公平性及び規則性の発展するために必要な手段 FIM が結論付ける場合を除き、まさに開催されようとしている競技会や競技に参加する競技者に緊張を与えるものではない。

2 定義

2. 1 細則

細則は一つまたはそれ以上からなる詳細な規則であるが、競技会のカテゴリー、規律全般にかかわるものではない。また、規則への追加が必要とされる場合、本スポーツコードに基づいて設定される。

2. 2 規則

規則は、FIM契約プロモーターとのパートナーシップにより運営されるFIM世界選手権及びプライズイベントに適用される特別規則であり、スポーツコードに加えられ、そして、プロモーターとの契約時に加えられる。

2. 3 車両、エンジン及びエネルギー源

付則、規定及び規則は、レース方式及びクラスまたは車両が参加できる種目を表記している。

車両は以下のとおり

- スクーター
原動機スクーターとは、サドル上のシートに座ることの無いプラットフォームを持つ2輪車両（立ち乗り）
- モノホイール
原動機を持つ1輪車両で、左右各側またはサドル上に2つのプラットフォームを持つ1輪車両
- ジャイロポッド
原動機を持つ2輪車両で、ライダーが立ったままハンドルバーで操作する。車輪はライダーの左右両側にある。
- クアドまたはATV
原動機を持つ全地形万能の4輪車両で、屋根またはロールケージは無く、シートとハンドルバーを装備する。

- サイドバイサイドまたは SSV
サイドバイサイドは、1 名から 6 名までのシートを装備し、1 名ないし複数名用のステアリングホイール及び原動機を持つ 4 輪車両。車両には屋根またはロールケージを装備できる。ライダーとパッセンジャーは横に並んで座る。
- モータースクーター
モータースクーターとは、アンダーボーンまたはステップスルーフレームを持ち、ライダーの足用プラットフォームを持つ原動機付き 2 輪車両。
- スノーモビル
スキドゥーとして知られており、雪上車両、ソリ、原動機付きソリ、雪上車、スキーモビルまたはスノースクーターとは、雪上を走行できるキャタピラを装備する原動機付車両。スノーモビルにはハンドルバーが装備される。
- モーターサイクル
しばしばモーターバイクまたはバイクとも称される原動機付二輪車両。モーターサイクルには、様々な種目に適合するデザインが存在する。
- トライクモーターサイクルまたはトライク
3 輪原動機付車両。シャーシの構造は対照的なものであり、トライクの動力は 1 つまたは 2 つのリアホイールから得られる。
- サイドカー
サイドカーは 3 輪車両で、側面のホイールはモーターサイクルのリアホイールと直接的に整列しておらず、その構造は非対称的である。また、サイドカーの主な動力源はリアのメインホイールとなる。
- ペデレック
E バイクとも呼ばれる。ペデレックは、推進を補助するためのペグ又はペダルを装備し、主な推進力は筋力とされる。
- モペッド
モペッドは、推進力補助のためのペグ又はペダルを装備する低パワーモーターサイクルで筋力が主な推進力ではない。
- トックトックと称される 3 輪車両
3 輪の原動機付車両で、人や物資を運ぶために使用される。
- その他上記の組み合わせ車両

エンジンは、燃焼又は電動式で、圧縮空気または幾つかのタイプのエンジンの組み合わせとする。

内部または外部エネルギー源は、以下のリストに含まれる。

- 燃焼（水素、化石燃料、合成燃料、アルコール、ガス等）
- 機械式フライホイール
- 電動（バッテリー、ソーラー、燃料セル、超コンデンサ、非接触型充電等）
- 加圧流体
- 補助を伴う筋力
- 幾つかのエネルギー源の組み合わせによるハイブリッド

3 権能および裁定条項の認識

競技会を主催するFIMN、または団体、あるいは競技会に参加する個人は、本スポーツコードおよびその細則、規則、規律および裁定規則、メディカルコード、アンチドーピングコード及び環境コード、そして競技会の大会特別規則に関する知識を持ち、すべての規定およびその結果生じる全てを、条件付けることなく、受諾しなければならない。

FIMの法的組織、あるいはFIM総審議会によって出された最終決定は、通常の法廷に控訴することができない。これらの決定は、スポーツ裁定法廷に提出されるものとし、スポーツ裁定法廷が、そのスポーツに適用される裁定コードに基づいて最終的決着をつける独占的権限を有するものとする。

4 FIM規則の解釈

スポーツコードの解釈に関する紛争が生じた場合、取締役会がスポーツコードとその付則の解釈における最高権限を有する。

各スポーツ委員会は、FIM 世界選手権並びにプライズイベント、**外国籍参加者に関わらず国内競技会国際競技会**に関連する当該付則の解釈についての最高権限を有する競技組織である。

委員会及びパネルは当該関連コードの解釈に関する責任を有する。

FIM と FIM プロモーターとの契約によって設立された関連組織（事項 30.4.2.1）は、FIM とのパートナーシップによって運営される FIM 世界選手権及びプライズイベントに関連する規則の解釈についての責任を有する。

解釈に関して異論が生じた場合、あるいは二つの公用語による内容に差異が生じた場合、英語版が優先する。

5. スポーツコードとその細則及び規則の改訂、あるいは追加

総審議会承認後のスポーツコードへの改訂あるいは追加は、FIM 執行事務局により適用開始期日を明記して発行される。

付則への改訂あるいは追加は、当該委員会またはパネルの提案を受け、運営委員会の承認を得た後、執行事務局より適用開始期日を明記して発行される。

FIM 契約プロモーターとのパートナーシップによって運営される FIM 世界選手権及びプライズイベントに関する規則の改定、追加は、FIM とプロモーターによって設立される関連組織（事項 30.4.2.1）の承認の後、執行事務局により、適用開始期日を明記して発行される。

10 競技会

10.1 競技会の種類

一般に、FIMはさまざまな種目の競技を下記の種類に分類する：

- FIM プロモーターの存在しない FIM 世界選手権及びプライズイベント
- FIM 契約プロモーターとのパートナーシップによって運営される FIM 世界選手権およびプライズイベント
- FIM トレーニングキャンプ
- コンチネンタルユニオン契約プロモーターが関与または関与しない CONU（コンチネンタルユニオン）選手権
- CONU トレーニングキャンプ
- クラシックイベント
- ~~外国籍参加者に開かれた国内競技会~~ **国際競技会**
- コンチネンタル競技会
- 国内競技会

10.1.1 FIM プロモーターの存在しない

FIM 世界選手権及びプライズイベント

FIM 世界選手権およびプライズイベントは、スポーツコード第 30 章に明記されている条件に基づいて FIM カレンダーに記載される。

FIM 定款の事項 3 に準じて、モーターサイクルスポーツのすべての種目において、世界選手権、コンチネンタル選手権、および FIM プライズイベントの公式名称は FIM に独占的に帰属するものとする。

このような競技会を運営する場合、スポーツコード及び該当する付則が運営に関して適用される。

FIM世界選手権およびプライズイベントは、資格を有するまたは任命されたFIMライダーライセンスを所持するすべてのFMNのライダーを対象とする。

10. 1. 2 FIM 契約プロモーターとのパートナーシップによって運営される FIM世界選手権およびプライズイベント

FIM定款事項3.3及び3.4に則り、FIMの有能な組織(事項30.4.2.1)は、FIMプロモーターとの契約の結果、上記世界選手権の運営に必要なスポーツ的、技術的、医療的、環境、規律的改訂を行う権限を有する。

このカテゴリーの大会の運営に際しては、本スポーツコードと関連する付則が運営に関して適用される。

契約されたFIMプロモーターとのパートナーシップによって運営されるFIM世界選手権及びプライズイベントに出場するライダーは、FIMライダーライセンスを所持していなければならない。

10. 1. 3 FIMトレーニングキャンプ

FIMトレーニングキャンプは、特定の場所で競技会形式とは異なり行われ、参加FMNライダーの技量の向上と国内並びに国際選手権への参加を活気づける事を目的に行われる国際規模のスポーツトレーニング活動である。FIMトレーニングキャンプは、各国の啓発及びトレーニングプログラムの手段を支援並びに促し、FIMトレーニングライセンスを所持する開催国内及び海外ライダーに門戸を開く。当該主催国協会からFIMカレンダーの承認申請が提出されない場合、FIMトレーニングキャンプと称されない。

FIMトレーニングキャンプの運営は、スポーツコード及び関連ガイドラインが適用される。主催責任は主催国協会、存在する場合はFIM契約プロモーターにあるものとする。

10. 1. 4 インターコンチネンタル選手権

FIMインターコンチネンタル選手権は、スポーツコード第30章に明記された条件に準拠しFIMカレンダーに含まれるカレンダーである。

FIM定款における事項3に準拠し公式な名称はFIMインターコンチネンタル選手権とし、それはFIMの独占的権限内にある全ての種目に適用される。

スポーツコード及び関連する付則はこれら競技会の運営に適用される。FIMインターコンチネンタル選手権は、関連するCONUライセンスを所持し、コンチネンタルに指名された全てのライダーに対して開かれている。

10. 1. 5 CONU コンチネンタルユニオン選手権

FIM 定款事項 12.6 に準じて、コンチネンタルユニオン（CONU）は、コンチネンタル選手権を確立することができる。

FIM スポーツコードに準拠した当該 CONU スポーツ規則がその運営に適用される。

どの種目においても、CONU コンチネンタル選手権に出場するライダーは、当該コンチネンタルの当該種目ライセンスを所持していなければならない。

主催国協会及び CONU は主催する競技会に関する全責任を有する。

10. 1. 6 CONU トレーニングキャンプ

定款第 12.6 条により、コンチネンタルユニオン（CONU）は CONU トレーニングキャンプを確立することができる。

FIM スポーツコードに準拠した当該 CONU スポーツ規則が、CONU トレーニングキャンプの運営に適用される。

CONU トレーニングキャンプに参加するライダーは、FIM トレーニングライセンスまたは CONU の認めるライセンスを所持していなければならない。主催責任は主催国協会、存在する場合は CONU 契約プロモーターにあるものとする。

10. 1. 7 クラシックイベント

これらは明確に確立されている国際スポーツイベントで、歴史的にもモーターサイクルの開発およびモーターサイクルスポーツの国際的發展に貢献してはいるが、すでに FIM 世界選手権、またはプライズイベントに関連していないものであるため、全てに関わる責任（運営、スポーツ及び裁定）は主催国協会にあるものとする。

クラシックタイトルは、該当するスポーツ委員会からの推薦に基づき、取締役会が与えるものとする。

10. 1. 8 外国籍参加者に関かれた国内競技会国際競技会

外国籍参加者に関かれた国内競技会国際競技会は、主催国協会（FMNR）によって ~~NMFP-FIM~~ のカレンダーに登録されないかぎり、外国籍参加者に関かれた国内競技会国際競技会とは呼ぶことができない。

~~一つの国でのみ行われる国際競技会には、FIM選手権及びプライズイベントライセンスまたはライダーの所属する国のFMNが発行する国際ライセンス、および主催国協会（FMNR）が発行する国内ライセンスを所持するライダーを対象として行われる。~~

外国籍参加者に関かれた国内競技会国際競技会の運営にはFIMは関与しないことから、全てに関わる責任（運営、スポーツ及び裁定）は主催国協会にあるものとする。

10. 1. 9 コンチネンタル競技会

コンチネンタル競技会は、一つの国でのみ開催が認められ、当該FMNによって当該CONUに競技会登録されるものとする。

当該コンチネンタルに所属するFMNによって発行された国際ライセンス、主催国協会によって発行されたナショナルライセンスまたは当該コンチネンタルによって発行されたコンチネンタルライセンスを所持するライダーを対象として行われる。

10. 1. 10 国内競技会

国内競技会は主催国協会（FMNR）によって管理され、彼らの国土内に手開催される。場所の変更等の場合、大会が開催される地区のFMNの了解を得ることは義務とされる。当該国協会の発行する国内ライセンスを所持するライダーを対象に行われる。

主催国協会（FMNR）の国内スポーツコードが運営に関して適用される。

10. 2 四輪とモーターサイクルレースが同日に行われる競技会

FIM世界選手権またはプライズイベントの対象となるイベントをプログラムに含む競技会においては、四輪レースと二輪または三輪のモーターサイクルレースを組み合わせるはならない。ただし、当該スポーツ委員会からの要請により運営委員会が認めた場合は例外とする。

10. 3 二輪および三輪のモーターサイクル、クアドレーサー及び／あるいは四輪のレース

安全上の理由から、二輪、三輪のモーターサイクル、クアドレーサーの同時レース、あるいはサイドカーとサイクルカー、および／あるいは四輪の同時レースは禁止されるが、当該スポーツ委員会からの要請により運営委員会が認めた場合は例外とする。

10.4 非公認競技会

本スポーツコード、細則または規則に準拠していない大会、スポーツコードに準拠していない**外国籍参加者に開かれた国内競技会**国際競技会のシリーズ、FIM カレンダーに記載されていない大会は FIM 非公認とする。

10.5 サポートレース

FIM 契約パートナーの関与しないまたは関与する FIM 世界選手権及びプライズイベント、関連するスポーツ委員会または FIM とプロモーター間または主催国協会（FMNR）によって設立された組織（事項 30.4.2.1）の承認を得た**外国籍参加者に開かれた国内競技会**国際競技会においてサポートレースを開催することが出来る。

10.6 タイトルの使用

FIM タイトル、すなわち FIM 世界選手権、コンチネンタル選手権、あるいはプライズ、“グランプリ”、“ワールドカップ”、“コンチネンタル・カップ”というタイトルの使用、あるいはワールド又はコンチネンタルのステータスを競技会の表現に使用すること、及び／あるいは“国際”または“選手権”という表現をタイトルまたはサブタイトルにおいて使用することは、FIM カレンダーに記載されている競技会に関してのみ許可される。

これらのタイトルは、公式文書、宣伝ポスター等に使用することができる。

“グランプリ”、“インターナショナル及び／または FIM 世界選手権及びプライズイベント”というタイトルは取締役会の承認を得た場合にのみ使用することができる。

FIM 公認コンチネンタル選手権というタイトルは、内規事項 XI 1) 1b に規定される当該 CONU に帰属している。

10.7 サーキット、トラック及び会場

FIM 契約プロモーターが関与する／しない FIM 選手権およびプライズイベントに使用されるすべてのサーキット、トラック及び会場は、FIM によって公認されなくてはならない。

CONU の統括の基に運営されるコンチネンタル選手権のためのサーキット、トラック及び会場は当該 CONU の公認を受けなければならない。FIM によって公認されているサーキット、トラック及び会場は自動的に CONU の公認とする。

外国籍参加者に開かれた国内競技会~~国際競技会~~及び国内競技会に使用されるサーキット、トラック、および会場は、主催国協会（FMNR）の公認を受けなくてはならない。

10.8 幾つかの地域にまたがって開催される大会

FIM 世界選手権またはプライズイベント、外国籍参加者に開かれた国内競技会~~国際競技会~~が複数の FMN の領土にまたがり開催される場合で、もしそれが順位に影響するステージの場合（リエゾンステージを除く）、主催国協会（FMNR）は関連するすべての FMN の承認を得なくければならず、最低 2 ヶ月前までに執行事務局にその書類を送付しなければならない。

20. カレンダー

FIM は、FIM カレンダー及び CONU カレンダー、外国籍参加者に開かれた国内競技会~~国際イベント~~を特定のプラットフォーム上に掲載する。FIM は、カレンダー上からイベントを削除する権限を有する。

FIM カレンダー

毎年 FIM はウェブサイト、その年度に FIM 統括の基で開催される FIM 契約プロモーターの関与する／またはしない FIM 世界選手権及びプライズイベント記載する。そのリストは、FIM カレンダーと呼称される。

FIM カレンダーは、事項 20.2 に基づいて FIM に申請することによって、年度を通じて最新化することができる。

カレンダーは、イヤーズブックへのすべての追加または変更点の詳細を明記する発行物によって、定期的に最新化される。

FIM カレンダーに記載されるそれぞれの大会は、登録番号（IMN 番号）を持ち、FIM アニュアル及びウェブサイトに記載される。この番号は当該競技会に関連する全ての伝達文書に記載される。

外国籍参加者に開かれた国内競技会カレンダー（NMFP）

外国籍参加者に開かれた国内競技会のカレンダーは、主催国協会により FIM プラットフォームの責任の基に発表される。

20.1 カレンダーの設定

取締役会は、モーターサイクルスポーツ全般の利益を追求し、さらに可能な限り同じ種目の競技会を同日に配分するのを避ける、あるいは近距離で開催されるのを防ぐことを考慮したのちに、自由に開催日を振り分けることができる。

もし、同種目、同カテゴリーの大会で同日開催の申請が2大会提出された場合、運営委員会は当該2大会を受理することはスポーツとしての利益に反すると判断し、交渉しても解決が困難な場合、歴史ある大会にその優先権を与えることとする。取締役会は、決定に至った理由を書面に残す。

20. 1. 1 FIM プロモーターの存在しない FIM 世界選手権及びプライズイベント

FIM 世界選手権またはプライズイベントの各大会において、主催国協会（FMNR）は、前年の1月31日までにFIM 執行事務局宛てに申請書を提出しなければならない。

FIM 世界選手権またはプライズイベントの申請時に代替日程が出される場合がある。

FIM 世界選手権及びプライズイベントの日程、会場／サーキット／トラック、開催クラス申請について、当該スポーツ委員会は運営委員会の最終承認を得るために審理する。

20. 1. 2 FIM 契約プロモーターとのパートナーシップによって運営される FIM 世界選手権及びプライズイベント

FIM プロモーターは、直接関連する暫定 FIM カレンダーを FIM との契約書に記載された締切日前に取締役会に提出する。暫定カレンダーには、次年度の FIM 世界選手権またはプライズイベントに関する会場及び開催日が記載される。FIM にカレンダー申請する際、FIM プロモーターは更に FIM に対して各大会開催国のプロモーターと同意し、各関係主催国協会（FMNR）は、起こり得る紛争の排除または最低限に留めることやオーガナイザー、会場、有効なスタッフ等の最大限の活用について確認しなければならない。

暫定カレンダーの受理に伴い、FIM はカレンダーに関わる全ての主催国協会（FMNR）に即座に告知しなければならない。FIM に対して FIM プロモーターが暫定カレンダーを提出してから 15 日以内に、主催国協会（FMNR）がカレンダーに対して何らかの意義のある場合は執行事務局に通達しなければならない。

取締役会は、暫定カレンダーに関する主催国協会（FMNR）と FIM プロモーターとの間に起こる論争を可能な限り遅らせることなく解決する。

当該スポーツ委員会の審理後の取締役会決定がなされた後、FIM カレンダーは執行事務局により公表され、FIM アニュアル及びウェブサイトに発表する。

FIM 執行事務局は、前年のスポーツシーズン中に、当該 FIM プロモーターを含む暫定カレンダー会議を開催する。運営委員会は、可能な限り前年のスポーツシーズン中の早い時期に暫定カレンダーの公表ができるよう全力を尽くす。FIM プロモーターによる長期カレンダー計画を奨励する。

20. 1. 3 CONU コンチネンタルカレンダー

コンチネンタル選手権の CONU カレンダーは、それぞれのスポーツコードに準拠して決定される。

FIM プロモーターの関与しない／または関与する FIM 世界選手権またはプライズイベント同様、同日に、同一国で、同種目のコンチネンタル選手権の開催は認められない。取締役会は例外を認める場合がある。

20. 2 カレンダーの追加、および変更

20. 2. 1 FIM プロモーターの関与しない F I M 世界選手権及びプライズイベントのカレンダー

F I M 世界選手権またはプライズイベントの対象となる競技会の総数を超える申請があった場合や、最低申請数が満たされなかった場合、該当する委員会は、運営委員会の最終判断を仰ぐために提案を出すことができる。

日程が FMN にとってまったく受け入れられないものであった場合、当該 FMN は、9月30日までにオリジナルの申請を差し戻すか、あるいは正当な理由を述べて開催日、または開催地を変更した新たな申請を提出する。この申請に関する決定が、F I M 総会時に、該当する委員会の最初のミーティングで出される。

新たな開催日申請が該当する委員会によって却下され、この却下が運営評議会、または必要な場合には最高委員会によって確認された場合、FMN はただちにこの競技会申請を取り下げることができる。この場合、F I M はこの競技会の本来の開催日を維持しながら開催権を別の FMN に与えることができる。

期日より遅く到着した開催日変更申請は認められない。“不可抗力”の場合、取締役会が、カレンダー承認後に F I M 世界選手権、あるいはプライズイベントの開催日変更を決定することができるが、この場合でも次の総会までに決定が出されなくてはならない。

開催日変更が却下された競技会を含み、後日競技会開催を取り消した場合、事項 20.3 に明記されているペナルティーが科される。さらに、翌年に関して、同一の選手権競技の日程が予定されている場合、当該 FMN のいかなる申請も考慮されない。

FMN から要請があった場合、取締役会は上記のペナルティーを放棄することができるが、競技会中止の理由がエントリー数不足、または FIM が承認した純粋な“不可抗力”の場合であることを条件とする。

異例の状況に基づく 24 時間以内の短期変更は、上記規則における開催日変更とはみなされない。

20. 2. 2 FIM 契約プロモーターとのパートナーシップによって運営される FIM 世界選手権及びプライズイベントカレンダー

日程変更に関するプロモーターからの申し出は、根拠の十分な理由と新しく申請する日程の最低 45 日前までに申請された場合、取締役会によって審議される。

会場、サーキット、またはトラックの変更は取締役会によって FIM 公認前に十分な告知期間を持って承認される。

FIM プレスオフィスは、FIM プレスリリースによって速やかにこの変更を公表する。

20. 2. 3 CONU コンチネンタル選手権カレンダー

CONU カレンダーへの追加や変更は、CONU 規定によって決定される。

~~20. 2. 4 クラシックイベントのカレンダー~~

~~クラシックイベント申請の遅延は（すなわち前年の 11 月 30 日以降の場合）、当該大会開催の 4 週間前までの申請は認められる。~~

20. 2. 4 国際競技会のカレンダー

外国籍参加者に開かれた国内競技会国際競技会の申請の遅延は（すなわち前年の11月30日以降）、当該競技会開催日の10日前までならば受理される。

主催国協会（FMNR）は、例外的状況または正当な理由のある場合、延期またはキャンセルすることや、もしその大会が始まっているか終了している場合、競技結果の修正と外国籍参加者~~に開かれた国内競技会国際競技会~~の承認の無効を宣言することができる。

FIM 執行事務局及びエントリーを提出した全ライダーに開催日の変更、または中止に関する情報が提供されなくてはならない。異例の状況に基づく24時間以内の短期変更は、開催日変更とはみなされない。

開催日変更の場合、すでに提出されているエントリー申し込みは、ライダーが競技会の新たな開催日受け入れを確認した場合にのみ有効とされる。

20. 2. 5 コンチネンタル競技会のカレンダー

CONU カレンダーへの追加や変更は、CONU 規定によって決定される。

20. 3 カレンダー登録料

20. 3. 1 FIM プロモーターの関与しない FIM 世界選手権及びプライズイベント

主催国協会（FMNR）から FIM に支払われるカレンダーの各登録料は、取締役会によって決定され、総審議会によって承認される（定款事項 12.1.7o 参照）。

FIM 世界選手権およびプライズイベントの中止に関しては、下記の規則が適用される。

- 前年の10月31日以降、12月31日まで 追徴金 50%
- 前年の12月31日以降 追徴金 200%

これらのパーセンテージは、イコールトリートメントに基づく差し引きが行われた後に、登録料に適用される。

これらの登録料、または追徴金は、要請に基づいて一部、または全額返還されるが、その要請が、エントリー数の不足、または“不可抗力”によるものだと証明され、取締役会によって承認された場合に限られる。

20. 3. 2 FIM 契約プロモーターとのパートナーシップによって運営される FI 世界選手権及びプライズイベント

主催国協会（FMNR）から FIM に支払われるカレンダーの各登録料は、取締役会によって決定され、総審議会によって承認される（定款の事項 12.1.7o 参照）。

FIM プロモーター自身の理由によりキャンセルされた場合、追徴金は発生せず、登録料は返還される。

20. 3. 3 CONU コンチネンタル選手権

CONU カレンダーに対する CONU に支払われる各登録料は、当該 CONU により決定される。

20. 3. 4 外国籍参加者に関われた国内競技会国際競技会

FIM カレンダーに対する主催国協会（FMNR）に支払われる各 NMFP 登録料は、当該主催国協会（FMNR）により決定される。

20. 3. 5 コンチネンタル競技会

CONU カレンダーに対する CONU に支払われる各登録料は、当該 CONU により決定される。

30 FIM 競技会

30. 1 FIM 世界選手権およびプライズイベント

各スポーツ種目に関連する付則に含まれている条件の詳細に基づいて、FIM は下記の事項に詳細が明記される世界選手権およびプライズイベント、インターコンチネンタル選手権及びワールドレコード（記録挑戦）を承認する。

公式タイトルスポンサー名称またはブランド名は“FIM 世界選手権またはプライズイベント”の前に加えられる。

30. 1. 1 世界選手権

サーキットレース

- ライダー及びマニュファクチャラーの為の FIM グランプリ世界選手権
- ライダー、チーム及びマニュファクチャラーの為の FIM スーパーバイク世界選手権
- ライダー及びマニュファクチャラーの為の FIM ジュニア GP 世界選手権
- ライダー、チーム及びマニュファクチャラーの為の FIM スーパースポーツ世界選手権
- ライダー及びチームの為の Moto E 世界選手権

- チーム及びマニファクチャラーの為の FIM 耐久世界選手権
- ライダー、パッセンジャー及びマニファクチャラーの為の FIM サイドカー世界選手権
- ライダー、チーム及びマニファクチャラーの為の FIM ウィメンズサーキットレース世界選手権

モトクロス

- ライダー及びマニファクチャラーの為の FIM モトクロス世界選手権
- ライダー、パッセンジャー及びマニファクチャラーの為の FIM サイドカーモトクロス世界選手権
- ライダー、チーム及びマニファクチャラーの為の FIM スーパークロス世界選手権
- ライダー及びマニファクチャラーの為の FIM スーパーモト世界選手権
- ライダー及びマニファクチャラーの為の FIM スノークロス世界選手権
- ライダー及びマニファクチャラーの為の FIM フリースタイルモトクロス世界選手権

ナショナルチームの為のモトクロスイベント

- FIM モトクロス・オブ・ネーションズ
- FIM スーパーモト・オブ・ネーションズ
- FIM スノークロス・オブ・ネーションズ
- FIM フリースタイル・オブ・ネーションズ
- FIM クアドクロス・オブ・ネーションズ
- FIM サイドカークロス・オブ・ネーションズ

トライアル

- ライダー及びマニファクチャラーの為の FIM トライアル世界選手権
- FIM X トライアル世界選手権

ナショナルチームの為のトライアルイベント

- FIM トライアル・デ・ナシオン

エンデューロ

- ライダー及びマニファクチャラーの為の FIM エンデューロ世界選手権
- ライダー及びマニファクチャラーの為の FIM スーパーエンデューロ世界選手権
- FIM ハードエンデューロ世界選手権

ナショナルチームの為のエンデューロイベント

- FIM インターナショナル・シックスデイズエンデューロ (ISDE)

クロスカンントリーラリー

-ライダー及びマニュファクチャラーの為に FIM ラリーレイド世界選手権

トラックレース

-FIM スピードウェイグランプリ世界選手権

-FIM トラックレース世界選手権予選大会

-FIMSGP2 世界選手権

-FIMSGP3 世界選手権

-FIM アイススピードウェイ世界選手権

-FIM ロングトラック世界選手権

-ライダー及びマニュファクチャラーの為に FIM フラットトラック世界選手権

ナショナルチームの為にトラックレースイベント

-FIM スピードウェイ・オブ・ネーションズ

-FIM スピードウェイ・オブ・ネーションズ 2

-FIM スピードウェイワールドカップ

-FIM アイススピードウェイ・オブ・ネーションズ

-FIM ロングトラック・オブ・ネーションズ

Eバイク

-ライダー及びマニュファクチャラーの為に FIME-エクスプローラー世界選手権

-ライダー及びマニュファクチャラーの為に FIM E バイク世界選手権

-ライダー、チーム及びマニュファクチャラーの為に FIM E スクーター世界選手権

30. 1. 2 FIMプライズ

サーキットレース

-チーム、ライダー及びマニュファクチャラーの為に FIM 耐久ワールドカップ

-FIM Moto GP ルーキーズカップ

-FIM ドラッグバイクワールドカップ

-FIM ストリートフリースタイルワールドカップ

-FIM ミニ GP ワールドシリーズ

-FIM ストックワールドカップ

~~-FIM ウィメンズワールドカップ~~

モトクロス

- FIM モトクロスワールドカップ
- FIM クアドクロスワールドカップ
- FIM ウィメンズスノークロスワールドカップ
- FIM スーパーモトワールドカップ
- ライダー及びマニュファクチャラーの為に FIM アリーナクロスワールドカップ
- FIM ヴィンテージモトクロスワールドカップ

トライアル

- FIM ウィメンズトライアルワールドカップ
- FIM トライアルヴィンテージトロフィー

ナショナルチームの為にトライアルイベント

- FIM トライアル・デ・ナシオン インターナショナルトロフィー
- FIM トライアル・デ・ナシオン チャレンジ
- FIM X トライアル・デ・ナシオン

エンデューロ

- FIM エンデューロワールドカップ
- FIM スーパーエンデューロワールドカップ
- FIM エンデューロヴィンテージワールドカップ
- FIM ハードエンデューロワールドカップ

ナショナルチームの為にエンデューロイベント

- FIM エンデューロヴィンテージトロフィー

クロスカントリーラリー

- FIM ワールドラリーレイドカップ
- FIM ラリーレイドトロフィー
- FIM バハワールドカップ
- FIM サンドレースワールドカップ

トラックレース

- FIM スピードウェイサイドカーワールドカップ
- FIM スピードウェイユースゴールドトロフィー
- FIM トラックレースユースゴールドトロフィー
- FIM ロングトラックユースワールドカップ
- FIM フラットトラックワールドカップ
- FIM ワールドスピードウェイリーグ

- FIM アイスアリーナトラックレースワールドゴールドトロフィー
- FIM スピードウェイユースワールドカップ
- FIM ウィメンズスピードウェイゴールドトロフィー

E-バイク

- FIM E-バイクエンデューロワールドカップ
- FIM E-バイククロスワールドカップ
- ライダー、チーム及びマニファクチャラーの為に FIM E エクスプローラーワールドカップ
- ライダー、チーム及びマニファクチャラーの為に FIM E バイクワールドカップ
- ライダー、チーム及びマニファクチャラーの為に FIM E スクーターワールドカップ

30. 1. 3 ワールドレコード

- FIM ランドスピードワールドレコード

30. 1. 4 インターコンチネンタル選手権

- FIM インターコンチネンタルゲーム

30. 2 競技会の格式及び資格基準

取締役会は、適切な資格基準を考慮し、当該スポーツ委員または FIM とプロモーターとの契約によって設立された組織会からの提案により、事項 30.1 に規定されている如何なる競技会の格式をも FIM 世界選手権からプライズイベントに、またはその逆の変更を行うことができる。

同様に、FIM 世界選手権及びプライズイベントは、取締役会がモーターサイクルスポーツの利益のために適格な資格基準を考慮し、導入あるいは排除をすることができる。

30. 3 FIM プロモーターの関与する／またはしない FIM 世界選手権及びプライズイベント競技会

取締役会は、当該スポーツ委員または FIM とプロモーターとの契約によって設立された組織会からの提案により、FIM カレンダーとして記載されるための FIM 世界選手権またはプライズイベントの最低開催数を決定することができる。

30. 4 FIM 競技会の運営

30. 4. 1 FIM 世界選手権及びプライズイベント

FIM 世界選手権またはプライズイベントの対象となる各競技会は、それぞれ異なる主催国協会（FMNR）によって運営される。

もし、当該主催国協会（FMNR）が自国内での競技会を開催することを法律によって禁じられている場合、取締役会の上の承認の基、他の FMN に所属するサーキットにおいて、その FMN の了解を得た上で、FIM 世界選手権及びプライズイベントを開催することができる。

30. 4. 2 FIM 契約プロモーターとのパートナーシップによって運営される FIM 世界選手権及びプライズイベント

FIM が契約上承認した場合、いかなる個人または組織もこれらの大会を主催することができる。契約された FIM プロモーターは、関連する諸契約に準拠し大会を運営することに関して FIM に対して直接責任を負う。

当該 FIM プロモーターは、関連する主催者に対し条件の予定について通告する。

30. 4. 2. 1 FIM とプロモーターとの契約により設立される組織

FIM とプロモーターが締結する契約は以下を任命する：

i) それぞれの当事者を含むパーマネントビューロー。

この組織は、メンバー全員が必要と判断した場合で、契約上一切の矛盾を生じずに当該スポーツ委員会の決定を批准する場合、緊急の決断を行う権限を与えられる。(以下を参照)

ii) FIM 代表及びその他当事者が含まれる適切な委員会は、当該スポーツ委員会またはパネル、ライダー、チーム、マニファクチャラーのような当事者を含む関係者からの提案による規則改訂に関する検討を任されている。決議は単純多数決により行われ、タイが生じた場合、委員長が決戦票を投じる。決定事項は、常設委員会パーマネントビューローの承認を得た上で有効となる。

30. 4. 3 競技会のシリーズ

各国で開催され、異なる FMN のライダーが参加する**海外選手の参加が認められる国内競技会**~~国際競技会~~に関しては、必ず FIM カレンダー申請されなければならない。

FIM 世界選手権又はプライズイベントのタイトルをシリーズ名に含む場合、他シリーズのオーガナイザーが、二つのシリーズの混乱を避けるために

FIM によって提示されるあらゆる場合を想定した要件を考慮して設定される。

30. 5 順位

ライダー、パッセンジャー、チーム及びマニファクチャラーの順位は、関係するカテゴリーの競技会または種目の付則及び規則に準拠して決定される。

30. 6 FIMによって与えられるメダルと賞状

30. 6. 1 ライダー/パッセンジャー用FIM世界選手権およびプライズイベント賞

ライダー及びパッセンジャー（存在する場合）用の世界選手権に関しては、下記の賞が与えられる：

- 1位 ゴールドメダル 1個 およびFIM賞状 1枚
- 2位 シルバーメダル 1個
- 3位 ブロンズメダル 1個

ライダー及びパッセンジャー（存在する場合）用のFIMプライズイベントに関しては、下記の賞が与えられる：

- 1位 金泊のメダル 1個 およびFIM賞状 1枚
- 2位 シルバーメダル
- 3位 ブロンズメダル

30. 6. 2 マニファクチュラー用FIM世界選手権およびプライズ賞

世界選手権を獲得したマニファクチャラーには下記が贈られる：
FIM賞状 1枚

30. 6. 3 チーム用FIM世界選手権賞

チーム用の世界選手権では、下記の賞が与えられる：

- 1位 該当するにFIM賞状1枚 および該当する各ライダーに金メッキメダル1個ずつ
- 2位 該当する各ライダーにシルバーメダル 1個ずつ
- 3位 該当する各ライダーにブロンズメダル 1個ずつ

30. 6. 4 FIMチームプライズ賞

FIMチームプライズの賞は、該当する種目の付則に明記された規則に基づいて贈呈される。

30. 7 “チャレンジ”と“トロフィ”

FIM世界選手権及びプライズイベントに関して、取締役会の事前の承認を得ずに“チャレンジ”または“トロフィ”が贈呈されてはならない。

該当する委員会からの提案に基づいて、取締役会は、“チャレンジ”および“トロフィ”の贈呈に関する規則が当該競技の規則に明記されていない場合、規則を決定する。

“チャレンジ”または“トロフィ”の所持者は、それを所有している間に生じた破損や損失に関して責任を持つ。

“チャレンジ”と“トロフィ”には証明書が発行され、規則に基づいてレプリカは作成してはいけないことになる。

40 オフィシャル

40. 1 競技会の指揮と管理

競技会の指揮と管理、および法的手順はオフィシャルの責任とする。(下記事項 40.2.1 参照)

40. 1. 1 オフィシャル

イベント時の異なった役務を有するオフィシャルは下記のとおりとする：

- FIMチーフスチュワード及びスチュワード
- 審査委員長と審査委員会メンバー
- レフリー
- レースディレクター
- レースディレクションメンバー
- セーフティーオフィサー
- 競技監督
- テクニカルディレクター
- メディカルディレクター
- FMN 代表/スポーツスチュワード
- FIM テクニカルスチュワード
- 環境スチュワード
- チーフメディカルオフィサー (CMO)
- スターター
- タイムキーパー
- FIM 代表
- FIM 派遣代表 (メディカル、テクニカル、環境等)
- 審査委員会書記
- 安全および大会進行を担当するオフィシャル、およびマーシャル

委員会は、その特殊性に応じて、特定の細則及び規則にリストされている追加のオフィシャルを定義する可能性がある。

40. 1. 2 オフィシャルの資格

FIMおよびFMNは上記のカテゴリー別に、能力及び誠実さにおいて任務にふさわしいと証明できる候補者を任命するFIMの公式承認は、候補者が各種目における特別条件に基づいて適格だと証明されたのちに与えられる。当該委員会が、特定の国際オフィシャルに参加が義務づけられるセミナーを主催する。

オフィシャルはライダー、パッセンジャー、チームメンバー、アシスタント、マニファクチャラー代表または大会に参加しているスポンサーであってはならない。

40. 1. 3 FIMライセンスを所持するオフィシャル

FIM世界選手権またはプライズイベントに任務につく場合、関連する規約、付則、規則で義務付けられている場合、オフィシャルは、当該年度有効で、適切なFIM国際オフィシャルライセンスを所持していなければならない。

40. 2 オフィシャルの任命

40. 2. 1 FIMプロモーターが関与する／または関与しないFIM世界選手権及びプライズイベントのオフィシャル

FIM世界選手権及びプライズイベントのオフィシャルは当該FIM委員会またはパネルによって任命され、必要な場合は、FIMとプロモーターまたは主催国協会（FMNR）との契約（事項30.4.2.1参照）に基づいて設立された組織によって当該細則及び規則に準拠して任命される。

40. 2. 2 CONU コンチネンタル選手権のオフィシャル

CONU コンチネンタル選手権のオフィシャルは、CONUの規則に準拠し、CONUによって任命される。

40. 2. 3 クラシックイベントのオフィシャル

オフィシャルは、主催国協会（FMNR）規定に則り、主催国協会（FMNR）によって任命される。

40. 2. 4 海外選手の参加が認められる国内競技会~~国際競技会~~のオフィシャル

オフィシャルは、主催国協会（FMNR）規定に則り、主催国協会（FMNR）によって任命される。

40. 2. 5 コンチネンタル競技会のオフィシャル

オフィシャルは、主催国協会（FMNR）規定に則り、主催国協会（FMNR）によって任命される。

40. 2. 6 国内競技会のオフィシャル

オフィシャルは、主催国協会（FMNR）規定に則り、主催国協会（FMNR）によって任命される。

40. 3 FIMデレゲート（派遣代表）／FIM代表

前述したオフィシャルの他に、取締役会は代表目的、または監督目的でデレゲート、または代表者を任命することができる。

40. 4 オフィシャルの役務・権限

オフィシャルおよび／または組織の役務・権限は、該当する付則及び規則に明記される。

50 国際審査団及びFIM スチュワード

50. 1 国際審査団（JI）

50. 1. 1 構成

国際審査団は、1名の審査委員長と主催国協会（FMNR）が任命するメンバーを含む最低2名の審査委員会メンバーによって構成される。必要な場合、運営委員会はこの構成とは別の構成を決定することもある。審査委員長と2名の審査委員メンバーのみが投票権を有する。

可能な場合には、国際審査団には投票権を有さないメディカルデレゲートとテクニカルデレゲートも含まれることが望ましい。

下記の者は国際審査団の会議に出席する権利を有するが、投票権は持たない：

- 競技監督
- 取締役会のメンバー、常設委員会の委員長、FIM最高経営責任者、当該スポーツ委員会担当者
- 環境スチュワード
- FIM環境デレゲート
- 審査委員長が参加を認めた者

50. 1. 2 任命

FIM プロモーターの関与する／または関与しない FIM 世界選手権及びプライズイベントの国際審査団及び／あるいはチーフスチュワード及び FIM スチュワード及びあるいは FIM レフリーは当該委員会より推薦され、スポーツ執行役員によって任命される。

FIM デレゲート（派遣委員）（環境、メディカル、テクニカル等）は、当該委員会により推薦され、当該担当役員により任命される。

海外選手の参加が認められる国内競技会~~国際競技会~~の場合、審査委員長及び審査委員メンバーは、主催国協会（FMNR）によって任命される。

コンチネンタル競技会の場合、審査委員長及び審査委員メンバーは、当該 CONU によって任命される。

50. 1. 3 国際審査団の権限

国際審査団は競技会における FIM 規則、規則に特別に規定されている場合を除くペナルティーの裁定に関する最高権能を有する。

国際審査団は、競技会中に起こり得る抗議に対する審理件を有し裁定を下す唯一の法廷組織である。

国際審査団は、規律及び裁定規則に明記されている条項に則りペナルティを科すことにより、あらゆる紛争を解決しなければならない。

国際審査団は、オーガナイザー、レースディレクター、競技監督の要望または国際審査団自体の主導権に則り、競技会のスタートを遅らせたり、サーキット、トラックまたは会場の改修、不可抗力または安全上の理由から大会または大会の一部を停止またはキャンセルすることができる。

50. 2 FIM スチュワード

50. 2. 1 構成及び任命

FIM プロモーターとのパートナーシップにより運営される FIM 世界選手権規則は、大会毎に 1 名または 3 名の FIM スチュワードが任命される。3 名のスチュワードが任命される場合、そのパネルは会議の議長となるチーフスチュワードによって管理される。

50. 2. 2 定足数及び絶対多数

もし、3 名のスチュワードが任命された場合、FIM スチュワード会議の定足数は 2 名とする。FIM スチュワードの決定は単純過半数による。タイの場合、議長が決定票を有する。

50. 2. 3 FIM スチュワードの権限

FIM スチュワードは下記に関して責任を持つ：

- 当該イベントが該当するFIM世界選手権規則に準じて行われるようにする。
- 該当する規則に準じて、レースディレクションの決定に対する抗議についての聴取や、裁決を下す。(レースディレクションの決定に対し受け入れがたいことを表明したり、拒否または可能な限り改訂を抗議)

50. 3 国際審査団の介在しないFIM イベント

FIM 選手権及びプライズイベントの管理監督は、プロモーターの有無にかかわらず、各スポーツ委員会の規則および付属書に定義されているとおり、他の団体に委託することができる。

60 参加者

参加者とは、オフィシャル以外で適切なFIMライセンスを所持し、設定されている開催クラスに出場する人または実在する組織とする。

ライダーはパスポートに記載されている1つの国のみの代表となることが出来る。

複数国籍の場合、ライダーは最初のFIMライセンスの申請時に代表する国を選択するものとする。

国籍の喪失または変更又は不可抗力の場合、ライダーは、シーズン開始前(新しいFIMライセンスを注文するとき)に限り、FIMにスポーツ国籍の変更を申請することができる。

~~オフィシャルはFIM、主催国協会(FMNR)、CONUまたはパーマネントビューローによって任命され、その権能については関連する付則及び規則に明記される。~~

60. 1 FIM イベントに参加するナショナルチームまたはCONUチーム

ナショナルチームは、当該FMNによって指名される。オーガナイザーがナショナルチームを指名することはできない。

ナショナルチームのライダーは、彼らが代表する国のパスポートを所持するものとする。

CONUチームは、当該CONUにより指名される。ライダーの国籍が、ナショナルチームのものとは異なる場合、CONUチームの一員として参加することが出来る。CONUチーム(最低2か国)は、異なる国籍を持つ複数の

ライダーで構成される。このライダーは、CONU に加盟する協会から FIM ライセンスの発行を受けていなければならない。

60. 2 競技会への参加者

FIM ライセンスを所持する競技会への参加者は、下記のとおりとする：

- ライダー：FIM の統括する種目において車両を運転する個人
- パッセンジャー：サイドカーまたは SSV レースの競技会の際に、ライダーに同行する個人
- チーム：競技会中に同一車両を交代で運転する数人のライダーで構成される実在する組織。
- マニュファクチャラー：競技会中に使用されるモーターサイクルを生産する個人または組織
- トリアルアシスタント：関連する細則及び規則に従ってライダーを援助する個人

60. 3 結果及び発行物の承認

競技会に参加する参加者は、公式結果及び F I M の決定を受け入れなければならない義務があり、これらが全世界に発表されることに関して反対する権利を持たない。

60. 4 ライダーとパッセンジャーの年齢

スポーツ委員会および／あるいは関連する組織は、それぞれの種目及びカテゴリーに関する最低年齢について、国際メディカルパネルの事前承認の基に決定する。如何なる状況においても、FIM 規則によって運営される競技会におけるライダーの最低年齢は 10 歳とする。

最低年齢は、付則、規則並びに FIM メディカルコードに明記される。

それぞれの種目及びカテゴリーに関する最低年齢は当該ライダーの誕生日を基準とする。

CONU は、コンチネンタル競技会及びコンチネンタル選手権における最低年齢を設定することができる。

50 歳を超えるライダーの場合、関連する付則の条項、規則並びに FIM メディカルコードによる。

60. 5 責任及び危険性の認知

公式イベントにおける参加者は、公式イベント中、あるいはそのトレーニング中に生じたすべての損失、損害、あるいは負傷に関する一切の責任を、FIM、主催国協会（FMNR）、CONU、FIMプロモーター、オーガナイザー、オフィシャル、その雇用人、代表者、代理人から免除し、常に本スポーツコードの事項110.3に従うものとする。

さらに、参加者は、彼が連帯責任を負う第三者に対するすべての損失、損害、あるいは負傷に関して、FIM、主催国協会（FMNR）、CONU、FIMプロモーター、オーガナイザー、オフィシャル、その雇用人、代表者、代理人の責任を免除し、一切迷惑をおよぼさないことを確約する。

参加者は、競技に参加する上でリスクを認識し、第三者及び/または競技会に参加する事による彼自身または彼自身のモーターサイクルによる負傷、如何なる損傷、紛失に関する全責任を負わなければならない。

60. 6 ライダー及びマシンに表示する広告

FIMの権限の元で開催される競技会においては、ライダー、およびマシンに広告を表示することが許可される。

広告は、各国協会用に確保された専用スペースと重複しないことを条件として、代表チームのミーティング内でFIMによって定義されるスペースに許可される。

~~ヘルメットの広告の表示は、それによってヘルメットの技術的特徴を変更しないかぎり許可される。ナショナルチーム用の競技会では、広告がFIMの定めるナショナルカラーを妨げてはならない。~~

さらに、ライダー、パッセンジャー、チーム、スポンサー、あるいはマニファクチャラーは、競技会に関して自分のために行われた商業広告は、すべて事実かつ正確であり、曖昧ではないことを保証しなくてはならない。

FIMプロモーターとのパートナーシップによって運営されるFIM世界選手権及びプライズイベントに関しては、関連する規則が適用される。

60. 7 世界チャンピオン表彰式典

各種目の各クラスで世界選手権のタイトルを獲得したライダー（あるいはパッセンジャー）は、毎年FIMが主催し、FIMの経費にて開催する表彰式典への出席が義務づけられる。この表彰式典に出席しなかったライダー（またはパッセンジャー）には、最低10,000スイスフラン、最高100,000スイスフランの罰金が科される。

70 FIMライセンス

FIM ライセンスは、FIM 世界選手権及びプライズイベントで認可される唯一のライセンスである。

コンチネンタルライセンスや海外選手の参加が認められる国内競技会の為のライセンスに関して FIM は一切関与責任にならない。

70. 1 発行、延期と取り消し

FIM ライセンスの受給は、もし、申請者が当該規則に規定されている基準を満たしている場合、拒否されることはない。

すべての FIM ライセンスは FMN によって発給され、その発行は、財務規定事項 7.2 に記載されていない限り、当該申請者の所属する FMN が行う。

FIM、または FMN は下記を行うことができる：

- FIM ライセンスの発行を正当な理由の元に拒否する。拒否する場合、書面で通告することとし、理由を簡潔に述べていなければならない。
- FIM によって最終的な規則上のペナルティーの宣告として FIM ライセンスを没収する。

FIM または当該 FMN の公認でないイベントに参加した事実が判明した場合でもライセンスの取り消し等はすることができない。

~~大会中、FIM ライセンス所持者は FIM チーフスチュワードまたは審査委員長にライセンス提示を要求される場合がある。~~

70. 2 参加者のための FIM ライセンス

FIM ライセンスは、FIM または/及びコンチネンタルユニオンの権限の元に運営されるモーターサイクル競技会にどの資格においても参加を希望する個人、または団体組織にとって必要な書類である。

FIM ライセンスの所持者は、FIM 規則及びそのライセンスを発効する協会の規則を尊重し、これらの規則の基に違反が生じた場合に適用されるペナルティーを受け入れなければならない。

70. 2. 1 ライダー、パッセンジャー及びチーム用FIMライセンス

- 1 FIMライダーライセンスは、FIM権限の基に行われる競技会にライダーが参加するのを許可する書類である。
- 2 FIM世界選手権及びプライズイベント用ライダーライセンスは、ライダーが出場する種目の関連する付則及び規則に従って設定される。
- 3 FIMパッセンジャーライセンスは、パッセンジャーとして参加する場合にのみ有効とされる。
- 4 各国協会は、コンチネンタル大会に有効なライセンスを発行する責務がある。CONUは、年に1度発行されるFIMアニュアル及びウェブサイトに明記されている制度に準拠して発行されるCONUライセンスの発行に関して責任を有する。
- 5 各国協会(FMN)は、年に1度発行されるFIM年鑑及びウェブサイトに明記されている制度に準拠して発行される**海外選手の参加が認められる国内競技会国際競技会並びに国内競技会に有効なライセンスを発行する責任を有する。**
- 6 FIM選手権、プライズイベントまたは国際競技会で有効なFIMライセンスを発行する前に、FIMまたはFMNは申請者の身元、国籍、及び/あるいは申請者の永住地、年齢、健康状態、およびライセンス申請の対象となっている競技会参戦に向けての適性を確認する。さらに、FIMまたはFMNは当該申請者が、規則上、規律上の理由からFIMまたはFMNによって資格停止、または資格剥奪の対象となっていないかどうかを確認しなくてはならない。
- 7 FIMライセンスは、外国人ライダーに発行することができるが、当該申請者が国籍を有するまたは在住する国の協会から承認(許可証)を得た後に発行することが出来る。この協会は、FIM選手権及びプライズイベントに有効なFIMライセンスのリリースを発行する前に、申請者に国内ライダーライセンスの料金を課す場合がある。この許可は、それが許可された状況、つまり国籍および/または永住権が変わらない限り有効とされる。紛争が生じた場合には、最終的には仲裁裁判所である規律諮問委員会(TAC)によって解決されるものとする。

⁸ パスポートを所持する国の FMN から招待され、その年の間その国に参加し、その国のナショナルチームに参加する場合、当該ライダーは現在所持しているライセンスで参加することが認められる。

⁹ 2つの国籍を有するライダーは、一年に一つのナショナルチームにのみ参加することが認められる

¹⁰ 競技会の一部に一般公道を使用するエンデューロ、およびトライアル競技会に関して、競技会の行われる国の法律で要請されている場合、ライダーは有効な F I M ライダーライセンスと共に有効なモーターサイクル運転免許証を所持していなくてはならない。

70. 2. 2 トライアルアシスタント用 FIM ライセンス

トライアルアシスタントライセンスは、関連する付則及び規則に準拠し、登録されたアシスタントとして参加する場合に関してのみ有効とする。

70. 2. 3 マニファクチャラーのための FIM ライセンス

F I M は 3 種類の国際マニファクチャラーライセンスを発行する：

ブルーライセンス： 年間 5, 000 台以上のモーターサイクル（二輪）を生産しているマニファクチャラーにのみ発行される。

グリーンライセンス： 年間 500 台以上 5, 000 台以下のモーターサイクル（二輪）を生産しているマニファクチャラーにのみ発行される。

レッドライセンス： 年間 500 台以下の車両またはフレームを生産しているマニファクチャラーにのみ発行される。

FIM マニファクチャラーライセンスは、その所持者が毎年マニファクチャラー選手権に参加することを許可し、彼らの商標が公式結果に表示されることを認め、F I M が承認する競技会に彼らの商標名の元でライダーをエントリーさせることを認める。さらにモーターサイクル競技会において彼らの商標をつけたモーターサイクルが参加していると宣伝する権利を与えるものである。さらに、国際マニファクチャラーライセンスは、マニファクチャラー／コンストラクターに、F I M 技術規則に準じて彼らのモーターサイクルを認可してもらうことを認める。

FIM マニファクチャラーライセンスの申請は、執行事務局に提出されなければならない。

70. 2. 4 種目ごとのFIMスポーツチームライセンス

FIMは、種目ごとに、FIM世界選手権及びプライズイベントに彼らのチーム名でライダーをエントリーするためのインターナショナルスポーツチームライセンスを発行する。

種目ごとのFIMスポーツチームライセンスは当該種目の規則及び関連する付則に準拠して確立される。

チームがライダーを彼らのチーム名の元にライダーをエントリーするためのライセンスであり、FIM契約プロモーターとのパートナーシップにより主催されるFIM世界選手権及びプライズイベント規則に害しない公式結果にチーム名称を掲載するためのものである。

70. 3 FIM オフィシャルライセンス

FIMは、彼自身の所属するFMNもしくは当該スポーツ委員会によって任命される個々のオフィシャル、該当するセミナーに出席して試験に合格したすべてのオフィシャル、あるいはセミナーが必要とされない場合には彼らの所属するFMNによって任命された資格のあるすべてのオフィシャルに対して国際オフィシャルライセンスを発行する。オフィシャルライセンスの有効期間は、ライセンスに記載される。

オフィシャルライセンスの所持者は、当該イベントにオフィシャルとして任命された場合にのみこのライセンスを使用することができる。

70. 4 FIMプレスカード

FIMは、モーターサイクルスポーツメディアで実績のあるジャーナリストとカメラマンに対して、FIMプレスカードを発行する。

FIMの管轄で運営されるイベントの当局には、FIMプレスカードの所持者に対して、彼がプロフェッショナルな仕事を行うのを可能とする設備を提供するよう要請される。FIMプレスカードの所持者は規則、条件、およびイベントの正常かつ安全な進行を確保するためにオーガナイザーが設ける制限に従うものとする。

プレスカードは、自分で自分のリスクに関して完全に責任を負う者に対して発行される。このプレスカードは、他人に譲渡できるものではなく、不正に使用された場合には、ただちに没収され、無効とされる。

100 大会特別規則、その他書類及び競技会の種々運営

100. 1 国内コードとオフィシャルの任命

主催FMNのスポーツコードは本スポーツコードに基づいて作成されるものとする。各FMNは、委員会、国内委員会、あるいは他の組織、および自国の領土内で行われる競技会の運営に必要なオフィシャルの任命に関して責任を持つ。

100. 2 法律上の認可

オーガナイザーが必要な法的認可を受けるまでは、いかなる競技会も開催されてはならない。

100. 3 大会特別規則（SR）

大会特別規則（SR）には、FIM コード、付則及び規則に明記されていない特別な大会に関する追加の情報や詳細資料が含まれる。

大会特別規則（SR）は、判例として当該付則及び規則に明記されているFIM スポーツコード、その付則及び規則に関する変更を行ってはならない。

100. 4 公式プログラム

公式プログラム、および観客にとって便利な他の発表事項には、下記の情報が含まれるものとする：

- 各レース、またはヒートごとのライダー、パッセンジャーの氏名、ライダーの公式スポンサー名、ライセンスを発行するFMN、またはパスポートを発行する国名。
- 各レース、またはヒートごとのモーターサイクルメーカーのリスト。
- 競技会のタイムスケジュール
- レースディレクションの代表者名、及び／あるいは競技監督名、安全及びイベント運営を担当するオフィシャルの氏名。
- FIMチーフスチュワード、およびスチュワード、あるいは国際審査委員会の委員長およびメンバーの氏名。
- 環境及び一般の安全規則を遵守する上での配慮

100. 5 公式文書の作成

国際競技会に関連する公式文書（大会特別規則、プログラム、エントリー用紙等）には、本競技会が“スポーツコードに基づいて開催される”と明記されなくてはならない。公式文書には、FIMのロゴとイベント登録番号（IMN）が明記されるものとする。

100. 6 事前の検証

公式プラクティス開始前に、管理事項の立証、メディカルチェック、車検が行われ、当該付則及び規則に準拠しているか確認される。

イベントの間中、ライダーまたはチームは自分のマシンが規則に適合していることに関して責任を持つ。

100. 7 安全性

競技会中の安全性（ライダー、観客、およびオフィシャルに対して）がオーガナイザーにとって最重要事項である。

100. 8 救急処置

競技会に必要なとされる医療、および救急設備はメディカル及びアンチドーピングコード及び関連する付則及び規則に明記される。

100. 9 火災予防

ピット、クローズドパーク、パドック、給油エリア、および他のすべての危険地域において、火災の危険性を防ぐため予防措置が設けられる。

100. 10 環境

競技会中に環境を保護するために取られるべき措置に関連する規則と推薦事項がFIM環境コードに明記される。

110 保険

110. 1 第三者保険

110. 1. 1 国際競技会またはプロモーターの関与しないFIM世界選手権及びプライズイベントの第三者保険

FIM選手権、プライズイベント、あるいは国際競技会のオーガナイザーは、競技会中、あるいはプラクティス中に第三者を対象とする事故が発生した場合に、オーガナイザー自身、およびマニファクチュラー、ライダー、パッセンジャー、スポンサー、およびオフィシャルの賠償責任をカバーする英語またはフランス語で書かれた保険証書のコピーを遅くとも大会の20日前までにFIM執行事務局に提供しなくてはならない。この保険によって、FIMの第三者に対する賠償責任もカバーされるものとする。

最低保証額は、その大会が開催される当該国の法律によって定められている最低額以上、その時々によって取締役会にて決定され、FIM によって告知並びに流布される。

第三者保険の有効期限は、オフィシャルプラクティスセッション開始 2 日前から最終レース終了日の 2 日後までとする。

110.1.2 FIM 契約プロモーターとのパートナーシップによる FIM 世界選手権またはプライズイベントの第三者保険

FIM 契約プロモーターは、競技会中、あるいはプラクティス中に第三者を対象とする事故が発生した場合に、プロモーター自身、およびマニファクチャurer、ライダー、パッセンジャー、スポンサー、およびオフィシャルの賠償責任をカバーする第三者保険に加入していなければならない。その保証は、FIM またはオーガナイザーに対する如何なる賠償をも保証するものでなければならない。英語またはフランス語で明記された保険証券の写しは、大会の最低 20 日前までにオーガナイザー及び FIM 執行事務局宛てに送付されなければならない。

当該大会が開催される国の法律で定められている最低補償額を下回ってはならないとされるこの最低補償額は、取締役会で決定され、FIM 年鑑に明記される。

第三者保険の有効期間は、公式プラクティスセッションの開始 2 日前からレース最終日の 2 日後までとする。

110.2 ライダー、パッセンジャー、トライアルアシスタント及びチーム用の事故保険

FMN または FIM が行うことを認めた団体が、FIM ライセンスを所持するライダー、パッセンジャー、トライアルアシスタント、またはチーム、に出走許可を与えるにあたって、当該ライダー、またはパッセンジャーが、死亡、身体障害、医療処置、および本国帰還をカバーする個人の事故に関して保険に入っていることを証明する。この保険によってカバーされる最低保証額は、FIM 年鑑に記載されているスイスフランでの額と同等額とする。この保険は、すべての競技と公式プラクティスに関して有効とする。

FIM 世界選手権又はプライズイベント、**海外選手の参加が認められる国内競技会** ~~国際格式~~のクロスカントリーラリーのオーガナイザーは、自己経費により、エントリーしている全てのライダーを対象とする傷害保険（調査、抽出、治療及び送還）をかけていなければならない。（本保険に関する詳細は FIM 回報を参照）

FMN は、自国の FIM ライセンスを所持者に対して、もし彼らの保証額が FIM の最低保証額に満たない場合、特別に追加条件を付することが出来る。

110. 3 物品損害についての責任

FIM、FIM 契約プロモーター、主催国協会あるいはオーガナイザーは、競技会中、あるいはプラクティス中に、その競技会に出場するマシン、あるいはスペアシン、その部品、または装備が被った損害に関して賠償責任を負うことは一切ない。これはその損害の原因が、火災、事故やその他の原因、盗難、あるいは品質の変化などに関する場合に当てはまる。

しかしながら、オーガナイザーは、マシンがその専有管理区域（クローズドパーク等）にある場合には、責任を負うものとする。したがって、オーガナイザーは、その管理区域における管理期間中のすべてのモーターサイクルに関して、その商業価値全額に相当する額の保険を、盗難、紛失、損害に対してかけるものとする。

120 FIM 競技会へのエントリーとエントリー受理

エントリーの受理、取り消し、エントリーの拒否、競技会の欠席及びエントリー費用の払い戻しに関するすべての規則は、当該付則及び規則に明記される。

130 競技会の開始と運営

130. 1 競技会の開始

第 1 回受付及び車検の開始により競技会が開始となる。

130. 2 競技会中の規則

競技会中の全ての規則及び準備しなければならないものについては、当該細則及び規則に明記される。

140 競技会終了後

140. 1 最終車検

レースに参加した全てのライダー、モーターサイクルは、最終車検の対象となる。

燃料及びクーラントを含み、モーターサイクルの適合性に関する規則に違反した場合、当該付則及び規則に明記された処罰の対象となる。

140. 2 レースの順位と賞の訂正

ペナルティーが科された場合、順位はそれに準じて訂正される。

140. 3 賞を受ける権利の喪失

競技会において、順位から除外された、あるいは資格停止となったライダーは、提訴権を認められたうえで、賞を受ける権利を剥奪される。

140. 4 交通費及び賞金の支払い

交通費と賞金がある場合、該当する付則及び規則または大会特別規則に基づいて行われる。

140. 5 競技会の終了

抗議、および提訴の提出期限が終了し、すべての抗議と提訴に決定が出されるまでは、競技会は終了したとはみなされない。

提訴があった場合、最終決定が出されるまで、結果は最終的なものとはみなされない。

公式の表彰式がある場合、1位、2位、3位に入ったライダーに出席が求められる。

レースコントロールは、抗議受け付け時間が終了するまで、所定の位置に配置され、すべての設備が使用可能な状態に保たれる。また、すべてのオフィシャルとマーシャルは、国際審査委員会、レースディレクションまたはFIM スチュワードの要請に答えられるようにサーキットに止まるものとする。

140. 6 FIM世界選手権およびプライズの結果

FIM 世界選手権及びプライズイベントの最終結果は遅れることなく執行事務局へ送付することに関するすべての規則は、当該付則及び規則に明記される。

規律及び裁定規定

本規則における男性人稱は、簡素化を目的としたものであり特に明記されていない場合は女性を含むこととする。

1. 原則

F I Mの各組織及び代表者の義務、権限、および責任に関しては、F I M定款および細則に明記されている。

同様に、スポーツおよびツーリングイベントの参加者、オフィシャル、オーガナイザーにかかる義務に関しては、各F I Mスポーツコード及びツーリストコード、あるいはF I Mが採用し、発行している、あるいは今後採用し、発行する可能性のある他の規則に明記される。

これらの義務に違反したことが証明された、あるいはこれを守らなかったことが証明された場合には、本規律および裁定規則に明記されるペナルティーの対象となる。

2. ペナルティー

ペナルティーには下記の種類がある：

- 警告
- 罰金
- タイムペナルティー及び／あるいはポイントペナルティー
- 順位降格
- 失格
- 選手権ポイントの剥奪
- 資格停止
- 資格剥奪

2. 1 ペナルティーの定義と適用

- | | |
|-------------------------------------|---|
| • 警告 | 個人的または公に行われる |
| • 罰金 | 最高 100,000 スイスフランまでの 財政的現金による ペナルティー |
| • タイム及び/あるいはポイント
ペナルティーまたはタイムの削除 | ライダーの実質的な結果に影響を及ぼすタイムまたはポイントまたは距離の賦課、あるいはタイムの削除 |

- 順位降格
ライダーは、指示された順位に戻らなければならない
- 失格
大会、プラクティス、レースまたはランキングで得たリザルトの失効が自動的または個々に独立して科される。
- 選手権ポイントの剥奪
FIM 選手権ポイントの剥奪
- 資格停止
特定期間に関して、FIMのメンバーまたはライセンス所持者であることによって生じるすべての権利を失う、またはFIMの管轄下で行われる活動への参加を禁止される。本罰則の適用に関しては適用期間が明記され、これは最高2年間までとする。
- 資格剥奪
FIMの管轄下で行われるすべての活動に参加する権利を最終的、かつ完全に失うことを意味する。
この資格剥奪は時間の経過とともに調整することが可能とされる。

2. 2 特定のペナルティー

特定の違反に関する固定ペナルティーは、スポーツコード、メディカルコード、アンチドーピングコード、環境コード、各付則及び／あるいは個々の大会の大会特別規則に明記されている。

2. 3 複数のペナルティー

状況に応じて、一人の違反者に複数のペナルティーが科されることもある。

特定のペナルティーの中には、それが完了されるまで FIM によってライセンスが停止されるものもある。

2. 4 罰則に適用される原則

相応の制裁を科すには、犯罪の性質と重大さ、過失の程度と違反者の行為、およびその他の関連状況を考慮しなければならない。

3. 国際規律及び裁定組織

規律および裁定に関する要件を扱う資格のあるFIMの規律および裁定組織には下記がある：

- 国際審査委員会 (IJFF)、レースディレクションまたはレースディレクター、レフリー及びFIM スチュワードパネル
- FIM アピールスチュワードパネル、MotoGP 控訴裁判所、WSBK 控訴裁判所、EWC 控訴裁判所、そして主催国協会 (FMNR) 但し選手権またはプライズイベントを除く国際格式大会のみ国際規律法廷 (CDI)
- 規律諮問委員会 (TAC)

3. 1 国際審査委員会、レースディレクションまたはレフリー

3. 1. 1 構成

国際審査委員会は、FIMスポーツコードの第50章に明記されている条件に基づいて構成される。

レースディレクションは当該スポーツ種目の規則に準じて構成される。

レフリーとは、特定のスポーツ分野、または大会に関して、当該大会の最高管理権を行使する国際審査委員会が存在しない場合に任命される人物である。

3. 1. 2 権限

国際審査委員会、レースディレクションまたはレフリーは規律要件に関して権限を有し、下記の場合に自動的またはオフィシャルの要請に応じてペナルティーを科す：

- 大会中に、あるひとりの人物、またはFIMライセンスを所持するグループが、現行規則、または大会オフィシャルの与えた指示に反する行動、または行為を、自発的または意図せずに行った場合
- あるひとりの人物、またはFIMライセンスを所持するグループが、腐敗行為、または不正行為、あるいは当該大会、またはモーターサイクルスポーツの利益に有害な行動を取った場合

国際審査団またはレースディレクション、レフリーは競技会中に提出された抗議に対して裁定を下す権限を有する。

3. 1. 3 第3条に記載されている規律組織によって裁定される罰則

各競技規則は、第2条で定める範囲内で課せられる罰則を定めるものとする。

~~国際審査委員会、レースディレクション又はレフリーが科すペナルティー、J1またはレフリーによって、下記のペナルティーが、事項2.2及び2.3に明記された条項を毀損せずに与えられる：~~

~~警告~~

~~タイムペナルティー及び/あるいはポイントペナルティー~~

~~順位降格~~

~~ライドスルー手順またはストップ&ゴー手順~~

~~3000ユーロまでの罰金~~

~~失格~~

~~違反を犯した日から開始し、最高30日間までの資格停止~~

~~1戦またはそれ以上の選手権への出場権利の損失~~

~~更に、国際審査委員会、レースディレクションまたはレフリーは、J1またはレフリーに科す権限があるペナルティーより重いペナルティー、国際審査段、レースディレクション、レフリーもかせないペナルティーを科してもらうために、その違反について国際規律法廷(CDI)に連絡することもできる。~~

3. 2 国際裁判員リスト (LJI)

国際裁判官リスト (LJI) は、国際規律法廷 (CDI) 又は規律諮問委員会 (TAC) の委員が指名される有資格者で構成される。

~~国際司法パネル (CJI)~~

~~国際司法パネル (CJI) は、国際規律法廷 (CDI) または規律諮問委員会 (TAC) のメンバーで資格を有する人員によって構成される。~~

3. 2. 1 構成

国際司法パネルは、協会の氏名するメンバーによって構成される。国際司法パネル (CJI) メンバーの任命に関する手順及び条件の詳細は FIM 内規に明記されている。各FMNは、当該FMNの国籍を持つメンバーの中から1-2名を指名することができる。総審議会は、その任命を、4年間の任期に関して確認する。定款事項 12.1.7.p 参照

3. 2. 2 資格

国際司法パネルの任命を受けるためには、候補者は大学レベルでの法律学の学位を持っていなくてはならない。候補者は、FIMの公用語のうち最低ひとつに堪能でなくてはならない。候補者は、FIMのオフィサー、またはライセンス所持者であってはならない。

3. 2. 3 ディレクター及びメンバー

LJI ディレクターは、取締役会によって国際司法パネル（CJI）委員長が任命され、4年間の任期、FIM 定款事項 12.1.7 q)、に関して総審議会によって確認される。国際司法パネル（LJI）ディレクターは、国際規律法廷（CDI）及び規律諮問委員会（TAC）の委員長およびメンバーの任命に関して責任を持つ。

3. 2. 4 委員の解任

国際司法パネル（CJI）会議に2回続けて欠席した委員は、取締役会（BD）がその欠席の理由について了承していない限り、速やかに委員を解任される。

3. 2. 5 手順

~~国際司法パネル（CJI）委員長、または副委員長は、手順が確立された、及び／あるいは聴聞の準備ができた段階で、最高経営責任者と相談して、適切な規律または裁定組織を形成するメンバーを任命する。以前に当該要件を扱った国際規律法廷（CDI）メンバーが国際控訴裁定委員会（TIA）に任命されることはない。~~

各メンバーは、任命を承諾する時点で公平かつ独立していなければならない、手続き全体を通してその立場を維持しなければならない。それぞれの場合において、メンバー候補者は、メンバーの独立性に疑問の可能性のある事実や状況及び会員の公平性に関して合理的な疑いを生じさせる可能性のあるあらゆる状況を LJI 理事に書面で開示しなければならない。

任命されたメンバーの氏名は、すべての関係者に通達される。関係者は、構成メンバーに関する通達を受けてから3日以内に、正当性を証明する抗議文を添えて、当該裁定委員会の構成に、部分的、または全体的に反対する権利を有する。国際司法パネル（CJI）委員長、または副委員長が、この反対は妥当だと判断した場合、国際司法パネル（CJI）委員長、または副委員長は、必要な代替者を任命しなくてはならない。

3. 2-A 訴訟手続きにおける当事者としてのFIM

3. 2-A1 役割

国際規律法廷（CDI）に対するすべての控訴に関して、FIMは起訴の形式でその利益について主張する、または立場について説明する権限を有する。

3. 2-A2 任命

各事例において、執行役員会（BE）がFIMを代表する人物を任命する。

3. 2-A3 手順

FIMによる介入が、執行役員会（BE）の理解のもとに随時行われる。

本コードに従い、当事者としてのFIMは、他の当事者と同様の権利と義務を有する。

FIMは、聴聞会に出席者を出す、あるいは文書にて主張を行うことができる。

3. 3 国際規律法廷（CDI）

3. 3. 1 構成

事例ごとに、アンチドーピングケースを除き、国際規律法廷（CDI）は国際司法パネル（CJI）の委員長が任命する1または3名のメンバーによって構成される（事項 3.2.3 に基づいて）。

専門家または有効と判断される証人の意見を要求することが出来る。

3. 3. 2 権限

CDI は、関連する規律の規定に従って、第 3 条に記載されている規律組織に裁定された決定に対するあらゆる不服申し立てを審理する。

違反の性質と複雑さに応じて、第 3 条で言及されている規律組織は、違反を処理するために問題を CDI に持ち込むことができる。

~~国際規律法廷（CDI）は、国際審査団またはレフリーの講義に対する裁定及び国際競技会の場合、主催国協会（FMNR）の出した最初の決定に対する控訴を聴聞する。~~

~~さらに国際規律法廷（CDI）は、国際審査団（JI）、レフリー、またはFIMの関連組織の要請に基づき、判決を宣告する。~~

競技会終了後、5 日以内に、FIM 会長、最高委員会または取締役会は、事項 3.3.2 の最終段落に準拠し、全ての違反または FIM 規則違反に関して国際規律法廷（CDI）に委ねることができる。

FIM 規則および規制の妨害あるいは非遵守は、最も関係する当事者によって国際規律法廷（CDI）への第一審の中で審判される。

FIM アンチ・ドーピング規則違反または不遵守は、FIM アンチ・ドーピング規則に規定されているとおり、スポーツ決議事務局によって構成される独立聴聞パネルに付託される。

3. 4 規律諮問委員会（TAC）

3. 4. 1 構成

規律諮問委員会（TAC）の構成は、国際司法パネルのディレクターにより任命された 1 名または 3 名の仲裁裁定委員で構成される。（事項 3.2.3 参照）

3. 4. 2 権能

FMN間の論争、またはFMNとFIMの組織間における論争の場合、当事者のいずれかが規律諮問委員会（TAC）に控訴することができる。

裁定委員会である規律諮問委員会（TAC）は、最終的な決定を下す。

どのFMN、またはFIMの組織も、FIM規則に関連する司法要件に関して規律諮問委員会（TAC）にアドバイスを求めることができる。

いかなる組織、またはFMNは、規律諮問委員会（TAC）に事例を提出する際に、規律諮問委員会（TAC）に裁定委員会として控訴しているのか、それとも諮問委員会として相談しているのかを明確にしなくてはならない。

仲裁またはアドバイスにかかる費用は、規律諮問委員会（TAC）書記によって決定され、原告側が支払うものとする。本規則への例外として、経費はFIMが負担するという決定を規律諮問委員会（TAC）が出すこともできる。

4. 抗議と控訴

4. 1 抗議及び控訴権

FIMライセンスを保有している自然人または法人で、FIMが認可した競技会中に罰則処分の対象になっていない者で、危険またはスポーツに反する不正な行為やライディングまたは行動によって直接的に不利益を被っているとみなされる者、第3条に記載されている団体は、そのような行為、乗車、行為に対して抗議する権利を有する。

FIMによって承認され、FIMの決定によって影響をうける1名、または複数の人間、すなわちライダー、パッセンジャー、チーム、スポンサー、マニファクチュラー、オフィシャル等は、その決定に対して抗議することができるが、ストップ・アンド・ゴーまたはブラック・フラッグに関しては例外とする。

原則として、ライダー、パッセンジャー、チームまたはエントリー車両の有効性に対する抗議は公式プラクティスのスタート前までになされなければならない。

競技監督、レフリー、スタートまたはフィニッシュマーシャルまたはレース中または公式予選中のその他執行役員の下した事実に基づく裁定に対する抗議を提出することは出来ない。裁定に関しては関連する付則及び規則に規定されている。

4. 2 抗議の手順および期限

すべての抗議は、直接関与する者によってのみ提出され、署名される。ひとつの抗議はひとつの要件に関してのみとし、スポーツコードの事項に明記された場合を除いて、結果が発行されてから30分以内に提出されなくてはならない。大会期間中、抗議は大会特別規則の条項に基づいて、責任のあるオフィシャル（競技監督、レフリー、大会事務局）にFIMの規定する抗議料金と共に提出される。

国際審査委員会、またはFIMスチュワードに対する抗議の保証金

— サーキットレース世界選手権グランプリ	660 ユーロ
— FIM サーキットレース選手権及びプライズイベント	660 ユーロ
— FIM モトクロス選手権及びプライズイベント	660 ユーロ
— FIM クロスカントリーラリー及びバハ選手権及び プライズイベント	660 ユーロ
— FIM トライアル、エンデューロ選手権及び プライズイベント	660 ユーロ
— FIMトラックレース選手権及びプライズイベント	660 ユーロ

4. 3 抗議の聴聞

聴聞後、国際審査委員会、またはレフリーは、大会期間中に出されたすべての抗議に対して決定を出さなくてはならない。抗議は、スポーツコード、付則及び特別規則に基づいて判定される。

4. 4 国際審査団（JI）、レースディレクションまたはレフリーの裁定の有効

国際審査団（JI）またはレフリーが下すペナルティーの裁定は、即時有効とする。

4. 5 控訴権

事項 2 に規定されているペナルティーの F I M の規律決定に対する控訴に関する規則は下記のとおりとする：

- F I M 選手権およびプライズイベントにおいて、国際審査団またはレフリーの出した決定に対する控訴は、C D I に対して出される

- 国際規律法廷 (C D I) の決定に対する控訴はスポーツ仲裁法廷 (CAS) に出される。

- 規律諮問委員会 (T A C) の決定に対する控訴はスポーツ仲裁法廷 (CAS) に出される。

4. 6 控訴提出の期限

控訴提出の期限は下記のとおりとする：

- 国際審査団 (J I) またはレフリーの決定に対する控訴 —5 日
(主催国協会 FMNR または国際規律法廷 C D I の前)

- スポーツ仲裁法廷 (CAS) 前に提出する控訴文書 —5 日

期限は、控訴人が決定を受領した日から換算される。

4. 7 控訴の提出

控訴を受理してもらうためには、事項 4.6 に明記された期限までに書留郵便または特別な輸送方法で執行事務局宛てに提出しなくてはならない。

正しい控訴状と保証金は、事項 4.6 に明記された期日までに、別々の郵便で FIM 執行事務局、または適切な場合には主催 F M N あてに送られる。

控訴状が提出されてから 10 日以内に、控訴人は執行事務局に対しその控訴事実に関して簡潔な説明を行う。

国際規律法廷 (C D I) / 国際控訴裁定委員会 (T I A) に対する控訴が**関連する手順に従って条例**で定められたもの提出されなかった、および／あるいは保証金が事項 4.6 に明記された期日までに送られてこなかった場合、国際司法パネル (C J I) 委員長は、聴聞を行わずにその控訴を却下することができる。

4. 7. 1 抗議または控訴を行う際に支払う保証金

控訴料金、およびあるいは控訴する際の保証金は、運営委員会の提案に基づいて総審議会が随時決定する。

現状の料金は：

- 国際規律法廷（CDI）に控訴する際の保証金 1320 ユーロ

4. 7. 2 延会の場合に支払う保証金

当事者のいずれかが、証人喚問の延期を申請する場合、この当事者には、当該裁定組織が設定する追加の保証金の支払いが要請される。この保証金が支払われるまで、聴聞は再開されない。この保証金が期限内に支払われなかった場合、裁定組織は当初の証人の証言のみによって控訴に対する裁定を行う。

4. 7. 3 控訴の聴聞に関して守られる期限

- 国際規律法廷（CDI）は、控訴を受理してから6週間以内に招集して、その控訴について審議を行わなくてはならない。
- 国際規律法廷（CDI）は、どのような場合においても決定を出さなくてはならない。

4. 8 控訴の有効性

控訴人の要望により、国際規律法廷（CDI）は国際審査団（JI）、レースディレクションまたはレフリーによって裁定された仮決定を差止め命令または裁決によって猶予することもできる。

5. すべての規律および裁定組織が取る手順

5. 1 聴聞の権利

FIMの定款、コード、または規則に基づいて違反を科された個人、または組織は、自ら、または代理人を立てて弁護を行う絶対的権利を有する。

規律または裁定組織の前に召集された者は、自分が選び、自分の費用で雇った弁護団を立てる権利を有する。弁護団を雇ったことに関する適切な通達がFIMに行われ、この要件に関与している他の当事者にもそのことが伝わるようにする。これを怠った場合、該当する規律または裁定組織が、この弁護団の加入に意義を申し立てることもある。

召集を要請されたが、それに従わずに欠席した当事者は、裁判欠席され、放棄とみなされる。

規律又は裁定組織の前で行う聴聞に関して、規律または裁定組織は、聴聞を電話会議の形式で行う、あるいは電話または他の電子デバイスを用いた通信手段を用いて行うと決定することもできる。このような聴聞の方法は、関係者全員が同意した場合に限り行なわれる。

5. 2 聴聞

例外的な状況において、該当する規律または裁定組織が特別の決定を出した場合以外、聴聞は公開されるものとする。

聴聞は FIM 公用語のいずれかで行なわれる。当事者のいずれかが別の言語を用いることを希望する場合には、その当事者が必要とする通訳を用意し、その費用を負担する。

控訴人は、出席するかまたは代理人を出席させなければならない。これを怠った場合、その抗議は容認されず、費用は控訴人が負担するものとする。

委員長が聴聞会を開始したら当事者を呼び、証人の出席していない状態で、個々の陳述を言明させる。

当事者の陳述が終わったら、該当する規律または裁定組織は、証拠を完成させるためにさまざまな証人と専門家の発言を聴聞する。当事者は、証人と専門家に彼らの証拠に対して質問する権利を有する。

該当する規律または裁定組織のメンバーは、聴聞の際に委員長の承認さえ得れば、いつでも当事者、証人、および専門家に質問することができる。

5. 3 証人および専門家

各当事者は、独自に証人を召集し、出席させることができる。この場合、費用はその当事者の負担となるが、当該裁定委員会が別の決定を下した場合は例外とする。

該当する規律または裁定組織は、証人に宣誓を強いる権利を持たない。したがって、宣誓証言は自由に行なわれる。証人は自らが知っている事実に関してのみ宣言し、意見を述べてはならない。ただし、規律または裁定組織がその証人をある特定の分野における専門家とみなし、意見を述べるように要請した場合は、例外とする。

証言後、証人は裁定室を離れてはならない。また、これから証言を行う他の証人と話をしてはならない。

裁定委員会は、専門家を招集することができる。

5. 4 判決

規律または裁定組織の決定は、すべて非公開形式で、単純過半数評決の方法で行なわれる。すべてのメンバーには、平等の評決権が与えられ、決定を出す際にはこの権利が行使されなければならない。投票棄権は認められない。

いかなる場合においても、控訴を提出している当事者側は、控訴されている当事者側の申し出の後に、陳述を増やすことはできない。

5. 5 判決の告知

国際審査団（JI）またはレフリーの決定は、大会会場にて直接通達しなければならないが、これができなかった場合、受領確認の取れる書留郵便で送付されなければならない。

国際規律法廷（CDI）または国際控訴裁定委員会（TAC）によって出されたすべての判決は、文書にされ、関係するすべての当事者に書留で送付される。国際規律法廷（CDI）、および規律諮問委員会（TAC）の決定は、当事者が関係するすべてのFMNにも通達されなくてはならない。

5. 6 判決の公表

抗議、または控訴を裁定する規律または裁定組織は、抗議または控訴を公表する、あるいは調査結果を公表し、関係する当事者の名前を明記する権限を持つものとする。これらの言明書の中に名前の記載された個人または団体は、FIM、FMN、または言明書を作成したその他のいかなる者に対しても控訴する権利を持たない。

更に、裁定組織が特に決定しない限り、最終決定がFIMブルテン及びFIMマガジンに公表される。

6. 手続き上の費用

規律または裁定の決定を出すのに要した費用が、裁定委員会の委員長によって査定され、敗訴側に請求される。ただし、裁定委員会が別の決定を下した場合は例外とする。

6. 1 罰金および費用の支払い

裁可が決定的なものとなり、罰金あるいは費用が事項 5.5 に基づいて判決の日から 30 日以内に支払われなかった場合、決定によって影響を受ける個人または団体は、自動的にFIMのすべての活動への参加を停止させられる。これはすべての支払いがFIM執行事務局に対して行なわれるまで続くものとする。

7. ペナルティーの相互作用

1949年4月30日、国際的にモータースポーツを運営している4つの組織の相互作用に関する合意が得られ、FIMに加え、

- 国際自動車連盟（FIA）
- 国際航空機連盟（FAI）
- 国際モーターボート連盟（UIM）

FIM の要請に基づいて、資格停止、または資格剥奪のペナルティーも上記組織の管轄にあるスポーツにも適用される。

8. 赦免

運営評議会は、CJI 委員長と相談の後、または彼の提案により最終的に罰則を与えられた者に対して、罰則の緩和もしくは赦免を行うことができる。

9. 裁定条項

司法組織または FIM 総審議会によって下された最終決定に対して、通常の裁判所へ控訴することはできない。このような決定は、スポーツ裁定法廷に提出され、スポーツ裁定法廷が、当該スポーツに適用される裁定規則（事項 4.6）に基づいて、最終的な判決を出す独占的な権限を有する。